学校番号	3008

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の地理総合(帝国書院)　コンパクト地理総合地図(二宮書店)						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代の地理的な諸課題を考察することに加え、国際理解や国際協力のあり方・防災などの諸課題への対応を考察する。
・地図や地理情報システム(GIS)などを用いることで、汎用的で実践的な地理的技能を習得する。
以上のことを目指す科目であり、そのために、作業的で具体的な体験をともなう学習をより一層重視しています。

２　学習の到達目標

・社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題解決活動を通して、国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質･能力を次のとおり育成することをめざす。
・諸事象に関して、生活文化の多様性や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
・事象の意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
・諸事象について、課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 ・地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用､地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。 ・考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	・知識や技能などを身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている｡また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 ・地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地図や地理情報システムと現代世界	・地球儀と地図 ・地図と地理情報システム	a:地球儀や地図から世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割を理解し、利用する技能を身につけている。 b:地図にはどのような特徴があるのか、どのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究し、課題を見いだそうとしている。	ワークシート 小テスト 諸資料 定期考査	ワークシート 小テスト 発表 レポート 定期考査	ワークシート 発表 レポート ふり返りシート
	結びつきを深める現代世界	・現代世界の国家と領域 ・地図から見る国内や国家間の結びつき	a:領域の定め方、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解し、読図の技能を身につけている。 b:領域はどのように定められており、日本にはどのような領土問題があるのか、世界の国々はどのように結びついているかなどについて、多面的・多角的に考察し、表現できる。 c:領域の定め方や日本の領土問題、世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴について、主体的に追究し、課題を見いだそうとしている。	ワークシート 小テスト 諸資料 定期考査	ワークシート 小テスト 発表 レポート 定期考査	ワークシート 発表 レポート ふり返りシート

2学期	生活文化の多様性と国際理解	・世界の地形と人々の生活 ・世界の気候と人々の生活 ・世界の産業と人々の生活 ・世界の宗教・民族・言語と人の生活 ・多様な生活文化と地理的環境 ・東アジア・東南アジア ・インド・中央アジア・西アジア・北アフリカ ・中央アジア・西アジア・北アフリカ ・ヨーロッパ・ロシア ・アメリカ合衆国・ラテンアメリカ ・オセアニア	a:世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解し、相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 b:地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現できる。 c:世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだそうとしている。	ワークシート 小テスト 諸資料 定期考査	ワークシート 小テスト 発表 レポート 定期考査	ワークシート 発表 レポート ふり返りシート
	地球的課題と国際協力	・人口問題 ・食料問題 ・都市・居住問題 ・感染症・衛生問題 ・資源・エネルギー問題 ・地球環境問題	a:地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを理解し、地理的見方・考え方を身につけている。 b:地球的課題がどこで、どのように生じているのか、解決の取組みについて、多面的・多角的に考察し、表現できる。 c:持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだそうとしている。	ワークシート 小テスト 諸資料 定期考査	ワークシート 小テスト 発表 レポート 定期考査	ワークシート 発表 レポート ふり返りシート

3学期	自然環境と防災	・日本の自然環境 ・地震・津波や火山活動による災害と防災 ・気象災害と防災 ・自然災害への備え	a:自然災害が生じる場所と要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解し、地理的見方・考え方を身につけている。 b:自然災害がどのような場所で生じるのか、日本の自然災害の特徴、防災・減災への取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現できる。 c:自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し、課題を見いだそうとしている。	ワークシート 小テスト 諸資料 定期考査	ワークシート 小テスト 発表 レポート 定期考査	ワークシート 発表 レポート ふり返りシート
	生活圏の調査と地域の展望	・地理的な調査テーマの設定 ・事前調査と現地調査 ・調査結果の分析と仮説の検証 ・調査結果のまとめと地域づくりへの参画	a:調査にあたって、仮説の立て方や結果の検証の方法などを理解し、技能を身につけている。 b:事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのか、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことが言えるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現できる。 c:生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだそうとしている。	ワークシート 小テスト 諸資料 定期考査	ワークシート 小テスト 発表 レポート 定期考査	ワークシート 発表 レポート ふり返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度